

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## フタバ産業株式会社（証券コード：7241）

### 【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的
債券格付	BBB+
発行登録債予備格付	BBB+

### ■格付事由

- 自動車用マフラーなどの排気系部品およびボデー関係部品を主力とする自動車部品メーカー。17年にトヨタ自動車より導入要請を受けたホットスタンプ加工ラインの投資資金を確保するため、同社に対し第三者割当による新株式発行を実施。現在は同社の持分法適用関連会社（19/3期末議決権所有割合31.45%）である。JCRでは従来からトヨタ自動車による経営サポートについて当社格付に一定程度織り込んでおり、足元でも経営の効率化において効果を発揮していると評価している。
- 19/3期は新車対応費用が想定以上に膨らみ業績を下押ししたが、今後は業績回復に向かう見通しである。シンプルライン導入に伴う生産性向上や排気系部門とボデー系部門の組織分割を背景とした原価低減は着実に進んでいる。新車対応については労働力の過剰投入などで改善余地を残したとはいえ、生産立ち上げの効率化など実務レベルで向上しており、今後はこれまで培ったノウハウや経験を生かすことで、過度な費用負担を回避できると考えられる。財務面では自己資本の拡充と有利子負債の削減によって、中期的に改善が進むと想定される。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 営業利益は19/3期67億円（前期比39.6%減）と悪化したが、20/3期には95億円（同39.8%増）と増益に転じる見通しである。新車対応費用の増加が一巡する中、販売増加や合理化効果が寄与するとみられる。21/3期以降は採算性の良化した製品投入が貢献することで、利益改善が続くと想定される。今後の注目点は、海外事業でのさらなる原価低減やボデー製品の開発・提案力の強化などである。
- 財務諸指標は改善余地があるものの、自己資本比率でみると19/3期末26.4%（前期末25.8%）と緩やかながら向上しつつある。20/3期は設備投資が減価償却費を上回る水準となる見通しで、財務構成の改善は鈍化するとみられる。19年4月に専門部署を新設し、今後は投資の効率化などを図る方針である。21/3期以降は大型投資がない中、投資管理の厳格化に注力することでプラスのフリーキャッシュフローを確保し、有利子負債を削減していくと想定される。

（担当）上村 暁生・小野 正志

### ■格付対象

発行体：フタバ産業株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	60億円	2019年3月8日	2024年3月8日	0.400%	BBB+
第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	60億円	2019年3月8日	2029年3月8日	0.730%	BBB+

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	250億円	2019年1月30日から2年間	BBB+

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年9月20日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「自動車・自動車部品」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) フタバ産業株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果の確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■用語解説

**予備格付**：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル